ほのぼのとしたひと時を

1－66

鳥と緑が囲むオアシス

山田池公園と

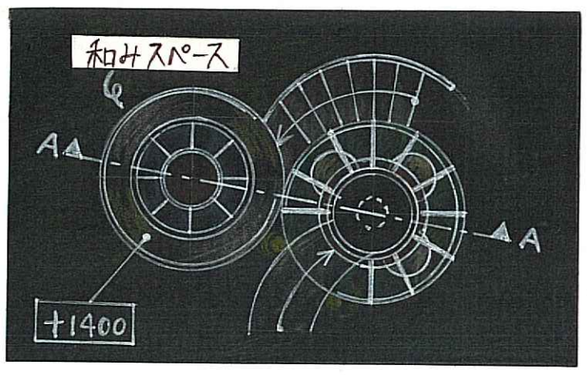
ーコンセプトー

山田池公園は、73.7ヘクタールの面積を誇る一大公園。自然を身近に感じ取ることができる公園として多くの人に親しまれています。そして、「日本の歴史100選」に選定されており、歴史が長い公園でもあります。また、野鳥が多く生息しており、様々な種類の鳥を見ることができます。そんな魅力の詰まった公園で、私は鳥と自然、そして私たち人をテーマとした休憩所を計画しました。計画地の近くには、住宅が並んでおり、人の行き来する場所には適切な場所だと考えます。なので、立ち寄りやすく、楽しみ、ゆっくり休憩ができるように形や高さ、周りとの調和を大事にし、計画しました。

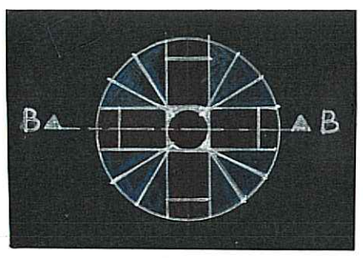
配置図兼屋根伏図 1:400

▶和みスペース

ここでは、基礎部から1400mm立ち上がっているので、また他とは違った空気を味わうことができます。



A 屋根伏図 1:100



B・C 屋根伏図 1:100

▲①から見た計画地の昼と夜

建築概要

ー算定式ー

Ⓐ: 1.5×1.5×3.14＝7.065 ㎡
1×1×3.14＝3.14 ㎡
7.065＋3.14＝10.205 ㎡
Ⓑ&Ⓒ: 1.5×1.5×3.14×2＝14.13 ㎡
Ⓐ＋Ⓑ＋Ⓒ＝24.335 ㎡

仕上げ：集成材
一部ポリカーボネート

構造：木造

ポイント

Aは鳥かごを表現し、BとCは、木を表現しています。イメージとしては、2つの木の奥に鳥の群れが、仲良く戯れているというイメージ像になっています。また、イメージ像に沿うように遊歩道で繋げ連続性をもたらしました。

照明

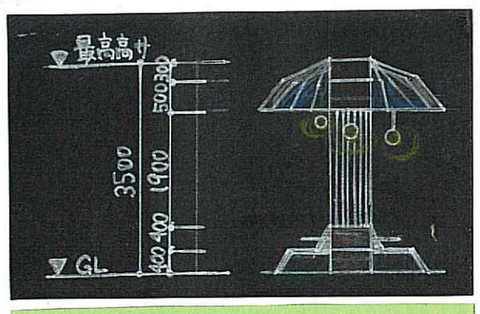
・他にも、階段の蹴上げを低くし、高齢者の方でも、簡単に上がる事ができるようになっています。

・ポイ捨てを防ぐために、ゴミ箱を設置しています。

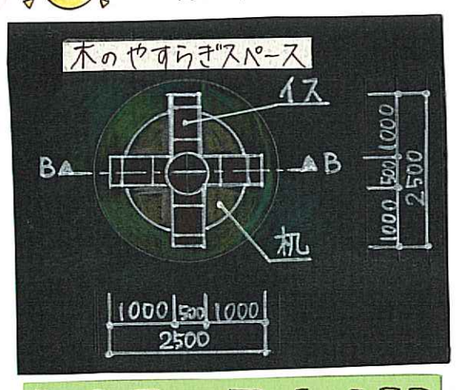
私は、昼と夜の2回現地に赴きました。お昼の時は日が照っていて、周辺の見晴らしが良かったです。夜の時は街灯が行き届いていなかった所があり、暗かったです。そこで、休憩所に埋め込みライトを設置し、木の安らぎスペースには、ペンダントライトをつけ夜でも安全にと考慮しました。

木の安らぎスペース

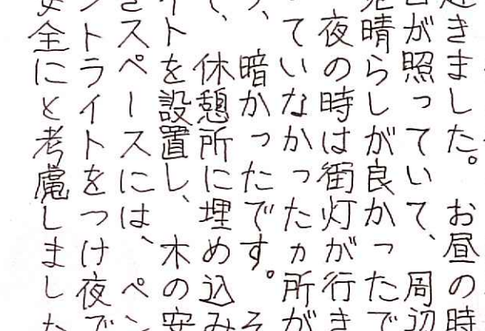
木の温かみを間近で感じれる場所になっています。イスの下は、荷物を置くスペースとなっています。また、イスの横には机を設置し、食べ物や飲み物などの置くスペースに使えます。



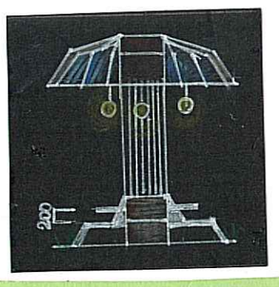
B・C 南立面図 1:100



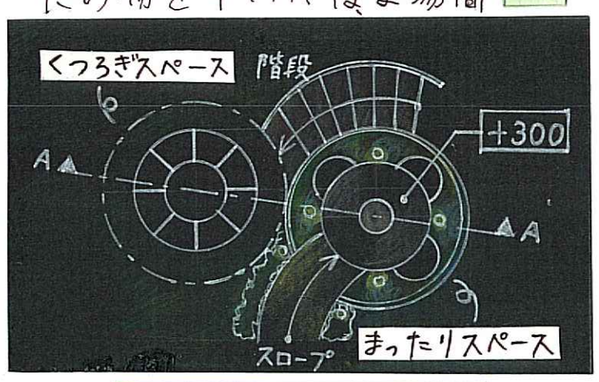
B・C 平面図 1:100



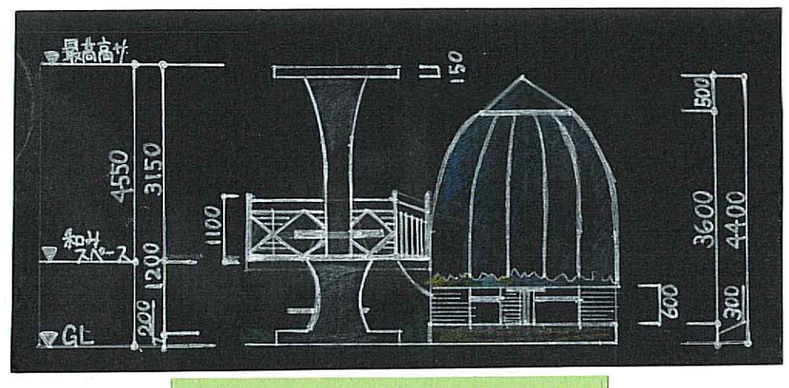
B－B 断面図 1:100



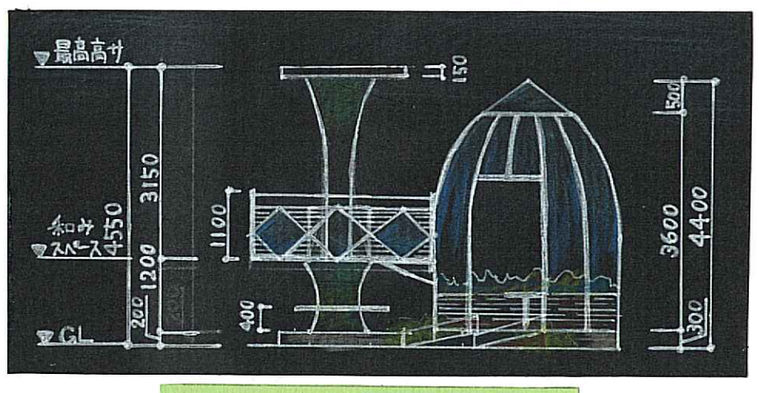
B・C 西立面図 1:100



A 平面図 1:100



A－A 断面図 1:100



A 南立面図 1:100

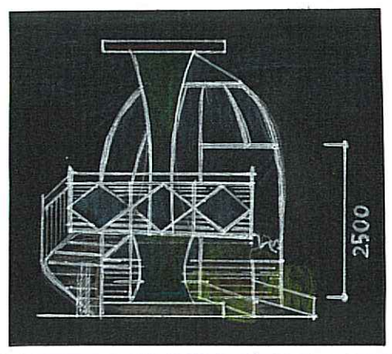
まったりスペース

湿気が多いということなので、基礎部から300mm立ち上げ湿気対策をしています。また、スロープをつけ安全性を高めています。中には、机を設置しているので、食事をすることができます。

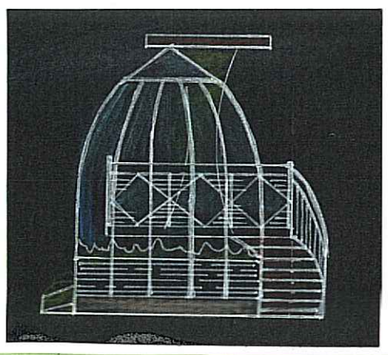
くつろぎスペース

芝生エリアというのを生かし、背もたれ部分も芝生にし、地べたに座りくつろげるようにしました。

縮尺 1:100



A 西立面図 1:100



A 東立面図 1:100

利用者へのメッセージ

家族でまったり過ごしたり、一人でゆったり座りながら本を読んだりと誰でも、簡単に立ち寄ることができる休憩所になっています。休まる休憩所にわくわく感を追加した新感覚な休憩所を目指したので、自然と共に、感じて頂けたらいいなと思います。また、和みスペースなど基礎部から高さがあるので遊んでる子供たちを別の視点から見ることができます。その遊んでる様子をあたたかいまなざしで見守ってほしいと思います。

特別号●月●日